

### 1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 事業推進課長	
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上		成果	コスト			
事務事業名	防潮扉改良事業				連絡先	052-654-7921	
目的	対象(誰・何を)	防潮扉				事業期間	平成20～令和元年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	高潮対策として老朽化した防潮扉の改良等を行うことにより、防護機能を回復・強化します。					
概要	整備場所: 築地東ふ頭、昭和ふ頭、潮見ふ頭 内容・規模: 防潮扉のアルミ化 事業手法: 防災・安全交付金(高潮対策事業、津波・高潮危機管理対策緊急事業)				根拠法令等	社会資本整備重点 計画法 海岸法(海岸保全基本計画)	
令和元年度の実施予定	高潮対策事業: 築地東ふ頭No.1、潮見ふ頭No.1、No.2のアルミ化を行います。 津波・高潮危機管理対策緊急事業: 昭和ふ頭No.16のアルミ化を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連シート		

### 2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	築地東ふ頭No.1、潮見ふ頭No.1、No.2、昭和ふ頭No.16の4扉のアルミ化を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等) 平成20年度以降: 485,926千円
事業費	千円	29,280	21,356	65,131	115,767	
人件費	千円	4,136	4,149	459	8,744	
合計	千円	33,416	25,505	65,590	124,511	

### 3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	最終目標	1	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
防潮扉の改良数 (箇所)(全58箇所) (進行管理型)	目標	54	57	58	58	防潮扉のアルミ化を行った箇所数です。	
	実績	52	54	58			
	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標						
	実績						
	事業進捗状況(元年度)						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	背後地域の生命・財産を守るため、必要性は高いと考えております。				
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	防潮扉の改良による機能強化は上位施策である「港の安全性・信頼性・危機管理の向上」に貢献すると考えております。				
	期待どおりの成果が得られているか?	○	防潮扉の改良については、閉鎖時間の短縮など防災面での確実性が向上することから、成果が得られていると考えております。				
効率性	最小のコストとなっているか?	○	コストが最小になるように精査して事業を進めています。				

### 4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			老朽化した防潮扉の改良工事が完了し、防護機能の回復・強化が図れたため。
課題			2年度以降の取組